

2022年度（令和4年）  
東北大学史料館 事業年報



## I 組織概要

### (1) 理念・目的と事業内容

東北大学史料館は、東北大学の歴史に関する資料の保存・公開をおこなう、東北大学のアーカイブズ（Archives＝文書館・公文書館）である。

発足間もない2001年度に当時の史料館運営委員会でまとめられた『東北大学史料館の将来構想』では、21世紀の東北大学のアーカイブズとして史料館が果たすべき基本的な役割が、以下の4点に整理し明示されている。

- 一、大学における歴史的情報を学内外に公開し、現代的情報を対象とする情報公開制度との両輪で「開かれた大学」という理念を実現する。
- 二、大学自身の歴史的资料を、長期的な見通しに立った大学改革・大学評価の基礎となる材料として活用し、大学の発展に貢献する。
- 三、収蔵資料を基礎にした大学史に関する研究活動を行い、これを基礎にした大学教育・社会教育活動を行うことで学術研究や地域文化の発展に貢献する。
- 四、アーカイブズそのものに関する研究・教育活動及びその支援を行い、公文書館等各地の資料保存機関で活躍する人材の育成に貢献する。

ここに示された理念の実現のために、史料館では本部事務機構以下の学内諸部局や関係分野の教員との連携のもと、以下の事業を継続的に実施している。

- 1) 学内諸部局に散在する大学公文書を保存期間満了後に歴史的価値評価に基づいて選別集約し、同時に本学の歴史に関する個人文書等の調査・収集を行うことで、東北大学の歴史資料として価値を有する様々な記録資料の集約と保存を図る。
- 2) 史料館に集積された資料を一般の閲覧利用に提供し、同時にそのための利用環境の整備（資料調査・整理および目録・データベースの作成公開）を図る。
- 3) 常設展示や企画展示など東北大学の歴史に関する展示活動や広報誌の発行等を通じて、東北大学の歴史に関する社会教育・普及活動を実施する。
- 4) 東北大学の歴史や資料保存・公開等に関する調査研究活動を実施し、同時にこれらを基礎にした教育活動を行う。

### (2) 沿革

東北大学史料館は、1963年（昭和38）7月にわが国初の大学アーカイブズ「東北大学記念資料室」として設置されて以後、半世紀近くにわたって活動を続けている。その沿革は以下のようにまとめられる。

#### ①『東北大学五十年史』編纂事業と東北大学記念資料室の発足

東北大学では、1960年に『東北大学五十年史』の編纂刊行を終了したのち、編纂事業において調査・収集した資料の保存公開の必要が認識され、1963年7月、「本学の歴史に関係ある記念となる資料を収集、保存するとともに、これを公開活用して、もって本学及び学術の発展に寄与する」ことを目的とする「東北大学記念資料室」が設置された。当時国内にはこうした大学アーカイブズの設置例はまだなかったが、欧米の大学ではアーカイブズが多く設置され始めており、こうした事例を参考にわが国初の「大学アーカイブズ」として発足した。

当初この記念資料室は附属図書館内に設けられ、職員もまた図書館業務を兼務するなど実質的には図書館と一体的なかたちで運営されていた。しかし1986年10月からは片平地区の旧附属図書館本館閲覧室を単独で使用し、教員についても専任の教員が配置され、実質的にも図書館業務と独立した組織として運営されるようになった。

## ②いわゆる「情報公開法」の施行と東北大学史料館への改組

2000年（平成12）12月、「東北大学記念資料室」は「東北大学史料館」へと改組された。この「史料館」への転換は、国立大学法人化に向けた学内改組の動きのなかで従来の「記念資料室」のありかたについて再検討を進めた結果、(1) いわゆる「情報公開法」の施行に伴う保存期間を満了した歴史公文書の保存公開体制整備、(2) 『東北大学百年史』編纂事業の伸展に伴う資料受入・保存公開体制のさらなる整備、(3) 本学を代表する一般公開施設としての整備充実、といった観点から必要な改革としておこなわれたものであった。とくに(1)については、翌年4月より保存期間を満了した歴史公文書の評価を史料館が担当することが学内で正式に制度化され、以後歴史公文書にかかる業務が大きな比率を占めるようになった。

なお2006年（平成18）4月には、総合学術博物館・植物園・史料館を「業務組織」として傘下に置く「東北大学学術資源研究公開センター」が設置され、史料館は以後同センターの業務組織となった。その結果博物館等との連携も強めているが、一方で事務担当部局は従来通り附属図書館とされ、図書館との関係も維持されている。

## ③「公文書等の管理に関する法律」施行と史料館公文書室の発足

2011年（平成23）4月、「公文書等の管理に関する法律」の施行に伴い、国の行政機関や独立行政法人等における公文書管理制度の大幅な見直しがおこなわれることとなった。東北大学においても同法に対応する形で「国立大学法人東北大学法人文書管理規程」が制定されるとともに、従来から実施してきた歴史公文書の史料館への移管制度をふまえ、同法が「特定歴史公文書等」の保存公開施設として定める「国立公文書館等」に相当する施設として、史料館に新たに「公文書室」を設置することとなった。

公文書室は学術資源研究公開センター史料館の一部門である一方で、総長の指名する副学長又は理事が委員長をつとめる「東北大学公文書管理委員会」のもとで本学の歴史公文書の管理公開を担当する組織としても位置付けられるなど特別な位置づけとなっている。またこうした位置付けに対応し、公文書室関係の事務に関しては総務部総務課が担当している。（2022年度現在は法務・コンプライアンス課）

また公文書室の設置と同時に、個人からの寄贈資料やその他の大学史にかかる多様な歴史資料を「特定歴史公文書等」と区分して管理・公開するため、「公文書室」と並ぶ室として「記念資料室」を設置し、以後この2室（2部門）体制で、本学の歴史に関する資料の保存と公開をおこなっている。

## (3) 東北大学史料館の収集・所蔵資料

「公文書等の管理に関する法律」および「国立大学法人東北大学法人文書管理規程」にもとづき保存期間を満了した東北大学の歴史公文書の移管を受けるとともに、教職員・卒業生をはじめとする関係者の記録など大学の歴史を跡づける多様な資料を収集・保存し公開している。

**史料館が収集・管理する資料の概要 (2021 年度末現在)**

区分	主な内容 (公開中のもの)
東北大学の歴史公文書	12,517点
東北大学および各部局・学内各種組織が発行する刊行物 (学術誌を除く)	20,384点
東北大学関係者の個人・関連団体資料	334資料群※
東北大学の歴史に関する写真・動画資料	写真資料5,960点 動画資料3点
東北大学の歴史に関する物品資料・記念品等	看板、教育用器具、絵画、印章、衣服、記念品等

※平成28年度以降、それまで包摂学校関係資料として一括されていた資料群を寄贈、旧蔵者別に個別にカウントすることとした。

**(4) 組織・スタッフ****①スタッフ (2022 年度)****1) 職員**

館長 (公文書室長・記念資料室長)

文学研究科教授 有光 秀行

教員等

准教授 加藤 諭

助教 曾根原 理

助教 大原 理恵

学術研究員 (公文書室) 岡安 儀之 ※協力研究員兼務

事務職員・アルバイト

事務職員 (限定) 高橋 早苗

事務補佐員 (公文書室) 田中 詩穂

事務補佐員 津上麻衣子

事務補佐員 荒川 理佐

アドミニストレイティブ・アシスタント 伊藤 遼

※秋季企画展示 (土日開館対応) に伴う時間雇用職員を除く

**2) 兼務教員**

文学研究科教授 安達 宏昭

高度教養教育・学生支援機構准教授 中川 学

高度教養教育・学生支援機構准教授 串本 剛

高度教養教育・学生支援機構助教 高橋 禎雄

**3) 協力研究員**

岡山大学教授 吉葉 恭行

東北大学高度教養教育・学生支援機構非常勤講師

浦山 きか

一般社団法人アカデミックグループ代表理事 (元AIMR特任准教授)

清水 修

東北学院大学助教	伊藤 大介
元東京大学文書館学術支援職員	白川 栄美
吉野作造記念館主任研究員	小嶋 翔
北京工業大学外国語学院外国専門家	新井菜穂子
名取市史教育委員会市史編さん室専門員	
	鳥居 建己
東北大学史料館公文書室学術研究員	岡安 儀之
東京経済大学史料室嘱託職員	伴野 文亮

## ②組織

### 1) 資料管理・公開業務にかかる組織

「東北大学史料館」全体として本学の歴史に関する資料の管理公開に取り組むと共に、2011年（平成23）度より「特定歴史公文書等」の管理を担当する公文書室と、「歴史的資料等」の管理を担当する記念資料室の2室を設置し管理公開業務をおこなっている。

#### ●公文書室

保存期間を満了し移管された本学の歴史公文書、および公文書に準じる性格を有するその他の資料を含む「特定歴史公文書等」の保存・公開等をおこなう。「公文書等の管理に関する法律」第二条第3項第二号に定める「国立公文書館等」としての指定を受けた施設。

#### ●記念資料室

退職教員・卒業生その他の個人等からの寄贈資料を中心とする、東北大学の歴史に関する多様な資料の保存・公開等をおこなう。「公文書等の管理に関する法律」第二条第5項第三号に定める「歴史的若しくは文化的な資料又は学術研究用の資料」を管理する施設としての指定を受けた施設。

### 2) 事務担当組織

史料館にかかる諸種の事務事項のうち、公文書室に特有の事務については総務企画部法務課が、それ以外の事務については附属図書館事務部がそれぞれ担当している。

## (5) 関係委員会等

### ①学術資源研究公開センター運営専門委員会史料館部会

「東北大学学術資源研究公開センター規程」第14条にもとづき、学術資源研究公開センター運営専門委員会の下に設置された、史料館の運営に係る専門的事項の審議をおこなう委員会。

#### 2021年度委員名簿

委員長	附属図書館副館長・文学研究科教授	有光 秀行
委員	文学研究科教授	片岡 龍
委員	文学研究科教授	堀 裕
委員	法学研究科教授	坂本 忠久
委員	工学研究科教授	五十嵐太郎
委員	生命科学研究科	経塚 淳子
委員	教育学研究科准教授	石井山竜平

委員	災害科学国際研究所准教授	佐藤 大介
委員	高度教養教育・学生支援機構准教授	中川 学
委員	学術資源研究公開センター史料館准教授	加藤 諭
委員	本部事務機構施設部特任講師	小貫 勅子
委員	学術資源研究公開センター史料館助教	曾根原 理
委員	学術資源研究公開センター史料館助教	大原 理恵

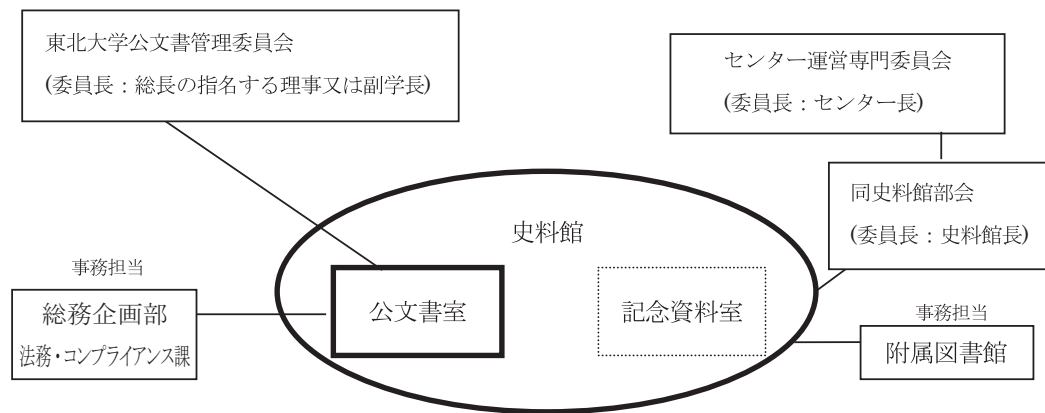
## ②東北大学公文書管理委員会

「国立大学法人東北大学法人文書管理規程」第8条に基づき、本学の法人文書および「学術資源研究公開センター史料館公文書室が保存する特定歴史公文書等」の管理に関する重要事項を審議する委員会。

2020年度委員名簿

委員長	理事	植木 俊哉
委員	総務企画部長	谷口 善孝
委員	史料館長・文学研究科教授	有光 秀行
委員	総務企画部法務・コンプライアンス課長	菅原 隆
委員	学術資源研究公開センター史料館准教授	加藤 諭

## 史料館組織概念図



## (6) 施設

史料館本館は1926年に旧附属図書館本館閲覧室として竣工した鉄筋コンクリート二階建ての施設を使用している。総床面積は1,214㎡であるが、うち52㎡は小田滋国際司法裁判所判事記念室に提供中である。またこのほかに、本部1号館（旧理学化学科棟）内の東側約100㎡を歴史公文書庫として使用していたが、平成26年度における東北大学「知の館」新設工事に伴い該当建物が取り壊されることとなり、平成26年3月末で退去せざるを得なくなった。この部分については、代替スペースが確保されるまでの一時的な措置として、2014年4月以降片平キャンパス内職員宿泊施設（片平会館）の一部を臨時的保管場所として借用していたが、2016年7月より片平地

区の教育基盤支援棟の2階一部162㎡を特定歴史公文書書庫として使用できることとなり、若干の整備を経て翌2017年2月より運用を開始した。その後、支援棟の2階書架満床により、2020年度には教育基盤支援棟の1階一部155㎡を増室した。なお本館については2012年度から2013年度初頭にかけて、東日本大震災による被災復旧を兼ねた耐震改修工事が実施された。さらに2019年夏から2020年度末にかけて2階展示室天井の耐震改修工事が実施され、改修工事後には2階展示室の空間を広く確保できるようレイアウトを変更した。2021年度は、閲覧室および教育基盤支援棟2階に書架を増設したほか、2020年2月13日発生福島県沖の地震に伴う建物損傷に伴う復旧工事、北側の正面玄関前、東側の通路側屋根部分に雪止め施工が行われた。こうした施策にもかかわらず施設は全般的に狭隘な状況にあり、業務遂行に必要な施設の確保が課題となっている。特に資料収蔵スペースの確保は今後の業務の遂行に不可欠の課題となっている。

## 施設総面積の推移（単位：㎡）

2020年3月末現在

	本館内						館外倉庫	備考
	合計	執務	展示	閲覧	収蔵	他		
2010年	909	117	332	28	255	157	104	執務室拡張（旧百年史編纂室）
2011年	1162	145	437	100	287	193	104	閲覧室・展示室等整備（旧法科大学院講義室等）
2012年	1162	145	437	100	287	193	104	
2013年	1129	163	406	78	273	209	104	耐震改修工事に伴う使用区分変更
2014年	1129	163	406	78	273	209	40	館外書庫は仮移転
2015年	1129	163	406	78	273	209	40	館外書庫は仮移転
2016年	1129	163	406	78	273	209	162	館外書庫は本移転（支援棟21 2F）
2017年	1129	163	406	78	273	209	162	
2018年	1129	163	406	78	273	209	162	
2019年	1129	163	406	78	273	209	162	
2020年	1129	163	434	78	273	181	317	展示室レイアウトの変更 館外書庫室増置（支援棟21 1F）
2021年	1129	163	434	78	273	181	317	
2022年	1129	163	434	78	273	181	317	

## 史料館施設利用状況一覧（単位：㎡）

2021年3月末現在

1階・地階	事務室	32	
	教員室1	28	准教授室
	教員室2・ミーティング室	56	助教および教育研究支援者室
	資料研究室	28	協力研究員およびアルバイト作業室
	資料整理室	19	受入資料の荷解・一時保管室
	閲覧室・開架書庫	78	書架延長195m
	書庫A	56	書架延長371m
	書庫B	17	書架延長114m
	書庫C	21	書架延長75m

	地下倉庫（階段含む）	16	物品資料保管室
	倉庫（階段含む）	23	
	廊下・便所	120	書架延長 19m（階段下）
2・3階	展示室	434	内バックヤード38㎡
	貴重資料室	18	美術資料その他の貴重品保管室
	書庫D・E・F・G	79	書架延長463m
	書庫H・I	38	書架延長140m
	廊下・階段室	89	
教育研究基盤支援棟21	公文書室書庫 1F	155	書架延長704m
	公文書室書庫 2F	162	書架延長545m

### 収蔵・保存環境整備状況

項目	内容	導入年度
紫外線対策	紫外線吸収膜付蛍光灯（館内収蔵庫等）	2010年度
	展示室外窓紫外線防止フィルム貼付	2013年度
	紫外線吸収膜付蛍光灯（館外書庫）	2016年度
空調管理	別館収蔵庫空調機	2011年度
	本館内収蔵庫空調機	2012年度
	ワイヤレス式温湿度計	2012-13年度
	本館内除湿器	2015-17年、19年度
	館外書庫除湿器	2016年度
地震対策	別館内書庫耐震固定工事	2011年度
火災対策	書庫内消火器の更新（二酸化炭素消火器）	2010年度
保存措置用機器	メディカルフリーザー（冷凍燻蒸用）	2010年度
	HEPA フィルター付業務用清掃機	2010年度
書架関係	書庫Cに書架増設	2018年度
	バックヤード階段下扉設置＋書架増設	2018年度
	支援棟21にマップケース2段増設	2018年度
	支援棟21 1F増室書架増設、2F書架増設	2020年度
	閲覧室書架（17fm）、支援棟21 2F書架増設（116fm）	2021年度
天井耐震改修 改修工事 一時什器搬出先	本部棟4 1階3部屋（遮光カーテン）	2019年度
	支援棟21 1階（床フローリング、遮光カーテン、除湿機）	2019年度

### 収蔵書架延長の推移

	収蔵室書架延長	
2010年度	1,470m	旧百年史編纂室収蔵設備の移管による増加
2011年度	1,570m	開架閲覧室等の整備に伴う増加
2012年度	1,570m	
2013年度	1,570m	



2014年度	1,149m	館外書庫の転出による
2015年度	1,149m	
2016年度	1,667m	館外書庫整備による
2017年度	1,667m	
2018年度	1,700m	本館書庫C、1階階段下書架増設による
2019年度	1,700m	
2020年度	2,431m	館外書庫整備等による
2021年度	2,547m	※閲覧室（17fm）、支援棟21 2F書架増設（116fm）
2022年度	2,547m	

※閲覧室・開架書庫212m（前年度から17m増）を除く

## 公開設備

閲覧室・開架図書室	専用閲覧室の整備（閲覧室の拡張移転および閲覧机、書架、マイクロスキャナ等/広報課総長裁量経費）	2011年度
	耐震改修に伴う専用閲覧室の再整備	2013年度
展示室整備	展示室の増設に伴う魯迅記念展示室・企画展示室の整備（広報課総長裁量経費）	2011年度
	耐震改修に伴う常設展示・魯迅記念展示・企画展示室の再整備（展示室の2階への集約）	2013年度
	常設展示室のレイアウト及び展示内容リニューアル（1970年代～2017年度現在までの大学史展示増補）	2017年度
展示什器寄贈	福島美術館閉館に伴う展示平ケース（キャスター付）7台、展示縦ケース2台（旧理学部生物学教室社会連携交流スペースに設置）	2019年度
展示室天井耐震改修工事	史料館天井耐震改修に伴う、展示室什器撤去（総長裁量経費）	2019年度-2020年度
本館災害復旧工事	2020年2月13日発生福島県沖の地震に伴う建物損傷に伴う復旧工事	2021年度
本館屋根雪止め設置	北側の正面玄関前、東側の通路側屋根部分に雪止め施工	2021年度

## II 2021年度の活動状況

### 1. 組織・運営

#### 1-1. 関係委員会の開催

##### (1) 学術資源研究公開センター運営委員会史料館部会

以下の2回にわたり同部会を開催した。

①第1回（2022年7月27日（水））

場 所 オンライン会議

出席者 有光議長（史料館長、文）、堀（文）、坂本（法）、五十嵐（工）、経塚（生命）、佐藤（災

害研)、中川 (高度教養)、石井山 (教育)、小貫 (本部)、加藤 (史料館)、曾根原 (史料館)、大原 (史料館)

欠席者 片岡 (文)

陪席者 佐藤総務課長、藤澤情報企画係長 (図書館)、岡安学術研究員 (史料館)

配付資料

1. 令和3年度第3回学術資源研究公開センター史料館部会議事要録
2. 令和3年度史料館事業の実施状況について
3. 令和3年度史料館決算について
4. 史料館屋根雪止め作業について
5. 2022年3月16日23時過の地震による被害状況について
6. 令和4年度史料館事業計画について
7. 創立115周年・総合大学100周年記念事業について
8. 東北大学大学院文学研究科認証アーキビスト養成コースについて
9. 令和4年度史料館予算案について

## ②第2回 (2023年2月27日 (月))

場 所 オンライン会議

出席者 有光議長 (史料館長、文)、堀 (文)、坂本 (法)、五十嵐 (工)、経塚 (生命)、佐藤 (災害研)、中川 (高度教養)、石井山 (教育)、小貫 (本部)、加藤、曾根原、大原 (史料館)

欠席者 片岡 (文)

陪席者 佐藤総務課長、藤澤情報企画係長 (図書館)、岡安学術研究員 (史料館)

配付資料

1. 令和4年度第1回学術資源研究公開センター史料館部会議事要録 (案)
2. 令和4年度史料館事業の実施状況
3. 令和4年度史料館予算執行状況
4. 周年事業に関する主な取り組み
5. 令和5年度史料館事業計画
6. 令和5年度史料館予算 (案)
7. 令和5年度協力研究員の委嘱について

## (2) 東北大学公文書管理委員会

### ①第1回 (2023年3月17日 (金))

場 所 オンライン会議

出席者 植木委員長、谷口副委員長 (総)、有光委員 (史)、菅原委員 (総)、加藤委員 (史)

陪席者 瀬成田法務・コンプライアンス課課長補佐

議事

- (1) 前回議事要録の確認
- (2) 令和4年度公文書室事業報告について
- (3) 令和5年度公文書室事業計画について

- (4) 令和4年度法人文書管理点検について
- (5) その他

## 1-2. 学内外からの事業資金獲得状況

### (1) 2022年度全学的基盤経費

学術資源研究公開センター配分経費のうち、史料館企画展・休日開館経費および東北大学デジタルアーカイブズ整備経費として合計1,055千円の配分を受けた。

### (2) 文化庁・令和4年度文化芸術振興費補助金

学術資源研究公開センター配分経費のうち、史料館として528,000円の配分を受けた。

## 2. 資料の管理・公開（アーカイブズ事業）

### 2-1. 資料の受入・整理

#### (1) 公文書室所管資料（特定歴史公文書・刊行物）の受入・整理・公開

##### ①資料の受入・移管

- 1) 特定歴史公文書（保存期間満了後公文書室に移管された法人文書）

2021年度特定歴史公文書の受入数 計548点（内、簿外受入179点）

2022年度末保存期間満了文書の評価数 計5,620点（内、592点移管指定※ファイル点数）

2022年度に受け入れた特定歴史公文書（移管元内訳、本部309、部局207※ファイル実数）

総長・プロボスト室	18	文学研究科	8
総務課	12	教育学研究科	7
広報室	14	法学研究科 （含専門職大学院）	7
基金・校友事業室	15	経済学研究科	7
法務・コンプライアンス課法規係	17	理学研究科	9
法務・コンプライアンス課コンプライアンス係	14	医学系研究科	30
法務・コンプライアンス課文書審査係	1	医学分館	0
法務・コンプライアンス課安全保障輸出管理室	4	歯学研究科	8
法務・コンプライアンス課利益相反マネジメント事務室	7	薬学研究科	7
国際企画課	47	工学研究科	11
人事企画課	8	農学研究科(含複合生態セ)	9
人事給与課	7	国際文化研究科	8
人事労務課安全衛生管理係（旧環境安全推進課）	6	東北アジア研究センター	0
学務課	6	情報科学研究科	9
教務課	24	生命科学研究科	2
入試課	23	環境科学研究科	4
学生支援課	17	医工学研究科	2
留学生課	9	金属材料研究所	34
キャリア支援事務室	6	加齢医学研究所	4

財務課	5	流体科学研究所	5
資産管理課	6	電気通信研究所	6
調達課	0	多元物質科学研究所	2
資金管理室	5	産学連携先端材料開発研究センター	0
旅費計算室	0	災害科学国際研究所	1
研究推進課	7	附属図書館	6
産学連携課	12	史料館	4
テクニカルサポートセンター	0	病院	11
研究コンプライアンス推進室	5	AIMR	1
施設部計画課	0	知の創出センター	0
施設部建築整備課	1	学際科学フロンティア研究所	3
施設部設備整備課	1	国際高等研究教育機構	0
オンライン業務推進課	5	イノベーション戦略推進センター	1
情報基盤課	3	未来科学技術共同研究センター	0
川内南センター	0	マイクロ融合	0
監査室	4	メガバンク	0
本部総計	309	未来型医療創成センター	0
		サイクロトロンRIセンター	1
		部局総計	207

## ②目録の整備・公表

特定歴史公文書の目録公開 計727点 (累計12,517点)

### 2022年度に公開を開始した主な特定歴史公文書

受入年度	点数	主な内容
2022年度新規受入文書	727点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部・部局2021年度末保存期間満了文書</li> <li>・学務課移管文書</li> <li>・情報基盤課移管文書</li> <li>・医学系研究科移管文書</li> <li>・工学研究科移管文書</li> </ul>

○利用制限区分はすべて「要審査」のまま (未審査状態)。

## ③資料複製・補修等

多元物質科学研究所水損資料の補修

## ④文書管理監査への同行 (2023/2/16 ~ 2/27)

## (2) 個人・関連団体寄贈資料等（記念資料室所管）の受入・整理

## ①新規資料の収集・受入

## 2022年度 主な受贈資料一覧（記念資料室分）

資料名	数量	概要・備考
哲学倫理学合研資料	1点	文学部の哲学・倫理学合同研究室に伝来した額縁。背面にレービッド謹呈墨書あり。
井上仁吉資料	1箱	日記、写真など
工藤聡関係資料	37点	記念バッチなど
財務部資産管理課 アセットマネジメント支援室移管資料	2点	栗野観音プレート1点など
三谷英夫文書	6点	名大学生との往復書簡など

## ②目録の整備・公表

## 2022年度に目録を公表した主な資料一覧

資料名	数量	概要・備考
前田四郎／工学部史編纂委員会文書	約300点	東北大学工学部長を経て学長となった前田四郎（1917-99）の文書と、『東北大学百年史』工学部史編纂委員会の資料が混在する資料群。
大橋広好資料	5点	公開講演の記録（VHSテープ）など
エラスムス絵画入り額縁	1点	文学部の哲学・倫理学合同研究室に伝来した額縁。背面にイガラシ氏へのレービッド謹呈墨書あり。
山内晋卿資料	1点	旧制第二高等学校の前身である、第二高等中学校の第2回卒業写真。旧蔵者の山内晋卿（1866-1945）は、後に第三高等学校の教授などを勤めた。
米倉等資料	8点	インドネシア各地の大学から贈られた記念品（盾など）。
東北大学百年史編纂室関係資料	66点	東北大学百年史編纂室の業務に関する資料。
小山田信子関係資料	21点	月輪みわ（1874-1938）が助産婦としてかかわった出産の記録など。
松隈健彦文書	319点	本学初代天文学講座教授の松隈健彦（1890-1950）の研究・講義等のためのノート類。

## (3) 東北大学総長・理事・副学長アーカイブ事業

2017年度事績ヒアリングの文字起こし作業、佐々木啓一理事・副学長事績ヒアリン（3/24）

## 2-2. 資料利用者への対応

### (1) 資料利用状況

月次	閲覧室利用	特定歴史公文書					記念資料		複写申請 (複写等申込書)				掲載許可届出		出版掲載許可申請			
		閲覧		写しの 交付		移管元 利用	閲覧		一般資料		写真 データ		写真 データ		一般資料		写真 データ	
		人数	件数	人数	件数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数
4月	8	4	20	0	0	0	1	3	0	0	2	4	2	4	0	0	0	0
5月	3	3	7	0	0	0	1	10	1	7	3	8	4	7	1	10	0	0
6月	9	5	37	3	7	1	0	0	0	0	4	24	6	29	0	0	0	0
7月	8	2	4	0	0	3	0	0	0	0	3	7	6	13	0	0	0	0
8月	17	4	26	0	0	0	1	2	0	0	8	20	8	16	0	0	0	0
9月	6	2	5	0	0	0	2	2	1	1	8	18	9	19	0	0	0	0
10月	6	3	6	2	12	0	3	23	0	0	6	10	7	11	0	0	0	0
11月	13	2	6	0	0	0	2	18	0	0	4	11	7	15	0	0	0	0
12月	14	6	15	0	0	6	9	20	0	0	5	7	5	12	0	0	0	0
1月	17	10	17	1	2	0	8	17	0	0	6	27	12	27	0	0	0	0
2月	16	6	66	1	2	2	3	6	0	0	3	4	5	7	0	0	0	0
3月	5	2	5	0	0	0	1	2	0	0	7	20	11	27	0	0	1	1
合計	94	29	376	9	20	15	20	329	1	1	47	172	69	196	6	9	1	3

## 3. 普及・社会教育事業

### 3-1. 展示会および関連企画の開催

#### (1) 常設展示

##### ①「歴史のなかの東北大学」の公開

2005年(平成17)4月1日より、東北大学の歴史をテーマにした常設展として公開している。

2017年9月21日、キャンパスデザイン室監修のもと常設展示のレイアウトを変更し、2018年1月26日、「歴史のなかの東北大学」の大学紛争以降のコーナーの展示模様替えを行った。2019年8月1日からは史料館天井耐震改修工事のため休室。天井耐震改修工事完了と並行して2020年度展示室レイアウトを全面的に変更した。その後、2021年10月25日～史料館2階展示室リニューアル展示再開、2022年2月3日～史料館全館 eduroam (無線LAN) 敷設が行われた。

##### ②魯迅記念展示室常設展「魯迅と東北大学」の公開

2011年7月より、かつて仙台医学専門学校に留学生として在学した文学者魯迅(周樹人)の留学生生活を主テーマとする展示室として「魯迅記念展示室」を開設。年間を通じて中国人来訪者等を中心に多くの見学者が訪れている。史料館展示室の休室に伴い、10月15日より片平キャンパス本部棟3魯迅ラウンジにて出張展示を開始。2020年3月2日以降、コロナウイルス感染症の発生状況を踏まえて閉室。2021年11月18日～階段教室展示ルームとして展示リニューアルし展示再開。

##### ③「東北大学ギャラリーひすとりあの公開」

東北大学が、創立115周年・総合大学100周年というメモリアルイヤーを迎えるにあたり、「東北大学ギャラリーひすとりあ」が片平まなびの館(片平キャンパス本部棟7)に展示整備された。

9月6日大野総長の内覧を経て、10月1日に開設された同ギャラリーは、学術資源公開研究センター及び埋蔵文化財調査室と連携し、東北大学の歩んできた歴史やさまざまな研究業績などを展示、火曜日と木曜日の12時～16時に開室することとなった。史料館は展示室3部屋を担当している。

#### ④「西澤記念資料室」の展示室増設

東北大学が、創立115周年・総合大学100周年というメモリアルイヤーを迎えるにあたり、本学第17代総長・西澤潤一先生（1926-2018）のご家族から先生の愛用品や蔵書等を本学に多数寄贈いただいたことから、既存の資料室を拡張して、展示公開することとなった。史料館は西澤潤一先生の自宅の様子を一部再現した、西澤潤一メモリアルルームを中心に、西澤潤一コレクションルーム、西澤潤一アーカイブルームの展示にも携わった。2022年9月12日には、西澤潤一先生のご家族と大野総長による西澤記念資料室の見学が行われ、加藤准教授が案内した。一般の企画展示は9月30～11月3日にかけて実施された。

## (2) 企画展示

### 2022年度展示一覧

常設展示	歴史のなかの東北大学	常設展示室	通年
常設展示	魯迅と東北大学	魯迅展示室	通年
テーマ展	東北大学史料館の紹介展示	企画展示室	企画展期間を除く通年
テーマ展	もうひとつの源流 －東北大学の包摂校－	常設展示室	通年
総長室展示	高橋里美色紙「包越」、旧制二高 「尚志像」エスキス	本部棟1総長室	通年
新入生歓迎展示	新入生歓迎展示「川内歴史さんぽ －縄文・仙台城、そして東北大へ－」	附属図書館	3/30-5/10
学内展示	階段教室展示ルーム展示	本部棟3階段 教室展示ルーム	通年
学内展示	西澤記念資料室 特別一般公開	西澤潤一記念資料室	9/30～11/3
学内展示	東北大学ギャラリーひすとりあ	片平まなびの館	10/1～
企画展示	東北考古学の礎－東北大学奥羽 史料調査部から現在へ－	常設展示室 一部模様替	9/1～12/23
企画展示	阿部次郎記念館新規資料及び法文 学部開設関係資料公開展示 「阿部次郎と法文学部」	企画展示室 + 常設展示室	10/1～12/24
テーマ企画	放射光施設模型巡回展示	常設展示室	12/7～12/27
模様替え	常設展示室にプロジェクター設置	常設展示室	1/10
ミニ展示	江澤民 元主席 追悼展	常設展示室	1/12～2/15
ミニ展示	星寮のおひなさま展	企画展示室	2/17～3/15

## (3) その他

- ・創立115周年・総合大学100周年記念式典（10/1）および周年事業、萩友会関西交流会（基金・校友事業室主催3/5）について、加藤諭史料館准教授が総長特別補佐（広報・記念事業担当と

して従事)

・東北大学史料館60周年記念事業

12月3日「東北大学創立115周年、東北大学文学部創立100周年記念、東北大学史料館設置60周年記念 認証アーキビスト養成コース開設記念シンポジウム -アーカイブズ専門職拡充と大学の役割-」を実施

### 3-2. 展示室の利用状況

#### (1) 利用統計

史料館展示室への入場者数 823人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
開館日数	20	19	22	20	19	18	31	30	22	19	19	22	261
見学者	358	387	307	335	591	618	680	670	580	389	374	753	6042

#### (2) 各種団体等による展示見学・視察への対応

2022年度の対応件数

来訪者の区分	件数	備考
海外	2件	
国内	15件	
総計	17件	

主な見学団体

学友会報道部、工学部五十嵐研究室学生スタッフ、東北学院大学博物館実習、博物館実習、韓国総領事一行、文部科学省、駐日イスラエル大使一行、浅草寺住職ほか、復興庁関係、文学部「人文社会序論」受講学生、本学参与一行、SMBCベンチャーキャピタル、JX金属

## 4. 教育・研修・学習支援活動

### 4-1. 教育・学習活動における史料館の利用

(1) 史料館等を活用した授業・講習の実施 1件

・博物館学「博物館展示論」(水澤教子非常勤講師) 12/21

### 4-2. 大学教育の担当

(1) カレントトピック科目「東北大学のひとびと」開講 (10月～2月)

(2) 博物館実習(館園実習)の受入: 9/26-30 18名 オンタイム対面併用

### 4-3. 大学院教育の担当

(1) 文学研究科設置の認証アーキビスト養成コースへの協力

アーカイブズ学特論、アーカイブズ学研究演習 … コース副委員長 加藤准教授



#### 4-4. 職員研修の担当

2022年度においては、以下の講義を担当した。

- (1) 大学の歴史に関する講義（初任者） 4/1 実施
- (2) 新任教員研修 3/1 撮影

### 5. 調査・研究活動

#### 5-1. 学術出版物の発行

- (1) 『東北大学史料館報告』第18号の刊行（2023年3月）

#### 5-2. 研究会等の開催・後援

無し

#### 5-3. 学会・研究会・研修会等への参加および報告

公文書管理研修Ⅰ（5/19）

学術研究員

事務補佐員（公文書室）

公文書管理研修Ⅱ（6/16、11/25）

受講 学術研究員

事務補佐員（公文書室）

講師派遣 准教授1名

アーカイブズ研修Ⅰ（8/22-8/26）

学術研究員1名（公文書室）

アーカイブズ研修Ⅱ講師（2/9～2/10）

学術研究員1名（公文書室）

第48回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会

（滋賀オンライン10/27-28）

准教授1名

仙台市公文書館運営検討会議（5/17、8/24、12/5、3/1）

准教授1名（座長）

岩沼市史収集資料保存活用等検討会（5/24）

准教授1名（副委員長）

文化庁国立近現代建築資料館収集小委員会（3/3）

准教授1名

#### 5-4. 科学研究費獲得状況

2022年度における館員（協力研究員含む）の科学研究費獲得は合計13件（うち代表6）となった。内訳は下記の通りである。

基盤研究（A）	分担5
基盤研究（B）	代表1、分担2
基盤研究（C）	代表1、分担2
挑戦的研究	代表1
若手研究	代表2

## 6. その他

### 6-1. 広報・情報公開（ニュースレター・ホームページ等）

#### (1) 『東北大学史料館だより』の刊行

2022年度は下記の2回発行した

37号（2022年9月）

巻頭コラム 「書簡の中の阿部次郎」

史料館長に就任して

東北大学史料館長 有光秀行

史料館のうごき

資料の公開について

お知らせ

・創立115周年・総合大学100周年記念事業企画展・シンポジウムのご案内

38号（2023年3月）

巻頭コラム 二高の黎明

新しいアーカイブズ目録記述方法の理解と適用に向けて

東北大学史料館協力研究員 白川栄美

資料の公開について

史料館のうごき

お知らせ

・東北大学創立115周年記念事業関連の企画展とシンポジウムの開催報告

#### (2) インターネット等を利用した情報発信

##### 1) 史料館ホームページの改訂

20回の更新を行った

##### 2) SNSによる情報発信

Twitterを利用した情報提供を125回にわたり行った

Facebookページを開設し、50回にわたる情報提供をおこなった

#### (3) 新聞報道・テレビ放送等

新聞報道

①「公文書管理の課題探る／「認証アーキビスト」養成5大学議論」2022年12月6日、河北新報朝刊

②「新規資料の書簡公開 企画展「阿部次郎と法文学部」23日まで開催中」2022年12月5日、東北大学新聞482号、1面

③「杜の都で友好の笑顔／江沢民さん死去」2022年12月1日 河北新報朝刊

④「公文書管理の基礎学ぶ／東北大院／アーキビスト養成コース新設」2022年7月31日、河北新報朝刊

⑥「魯迅と藤野 交流に脚光／日中国交正常化50年／」2022年6月22日、河北新報朝刊

⑦「文豪魯迅と医学の師藤野巖九郎2人の交流今再び脚光」2022年6月14日、新潟日報

- ⑧「文豪魯迅と医学の師藤野巖九郎2人の交流今再び脚光」2022年6月14日、静岡新聞
- ⑧「文豪魯迅と医学の師藤野巖九郎2人の交流今再び脚光」2022年6月14日、北國新聞（夕刊）
- ⑨「文豪魯迅と医学の師藤野巖九郎2人の交流今再び脚光」2022年6月15日、徳島新聞
- ⑩「文豪魯迅と医学の師藤野巖九郎2人の交流今再び脚光」2022年6月15日長崎新聞
- ⑪「文豪魯迅と医学の師藤野巖九郎2人の交流今再び脚光」2022年6月16日、中国新聞（セレクト）
- ⑫「公文書で知る明治の宮城／吉野作造記念館」2022年4月8日、河北新報朝刊

#### テレビ放送

- ①「記念東北大学オリジナルビール開発」KHB夕方ニュース、2023年9月21日
- ②「創立115周年記念東北大学オリジナルビール販売」東北放送夕方ニュース、2022年9月21日

### 6-2. その他の活動

本部人事給与課環境美化チーム（障害者雇用）との協力（公文書室書庫清掃作業）

<b>日誌抄 (2022年4月1日～2023年3月31日)</b>	5/31	片平環境美化チームぶる～みんなによる清掃作業 (展示室、支援棟2の当館書庫)。
3/7～30 2021と2022年3月16日発生地震復旧工事のため、階段教室等の公開を休止。3月に再開した。	6/7	ぶる～みんなによる清掃 (支援棟21書庫)。
4/1 有光秀行文学研究科教授が史料館館長に就任した。	6/10	3月16日に発生した地震の被害調査 (史料館+階段教室等) を施設部と行なった。
4/1 おひな様を虫干しし、防虫剤等の交換を行なった。	6/13	今年度の定年退職教員事業の案内回答締切
4/5 史料館緊急連絡網を更新した。	6/13	宮城県国際政策課一行12名
4/11 片平キャンパス桜ライトアップ点灯式	6/20	仙台魯迅研究会一行20名
4/12 定年退職教員事業および総長理事等アーカイブズ事業で作成した写真の電子化作業が終了し、納品された。(1699名分)	6/23	基金・校友係8名、九州大学職員および人事総務係長ほか8名
4/19 業績リスト (2014年～2020年度、合計198名分) の機関リポジトリTOURへの登録を依頼。5/6に終了。	6/28	文学研究科沼崎一郎教授と学生一校7名見学
4/21 令和4年度定年退職教員事業の準備開始。	6/28	各部局への訪問による法人文書の引継と評価作業開始。
4/25 東北大学生協同組合より、旧片平公孫樹売店の看板「東北大学生協片平店」が寄贈された。	7/4	定年事業の回答最終締切
※4月末から5月の連休期間は閉室	7/5	今年度の肖像写真の撮影を中映写真スタジオに発注した。
5/5 文学研究科沼崎一郎教授の授業の一環で史料館視察 (8名)。	7/14	ぶる～みんなによる清掃作業 (展示室、支援棟2の書庫、階段教室内外) 等をおこなった。(7/14、7/15、7/21)
5/10 総合学術博物館藤澤館長が学生27名を連れて、見学に来た。	7/26	学術資源研究公開センター運営委員会
5/12 今年度の「東北文化の日」事業に参加希望を提出。	7/26	新潟中国総領事から魯迅手稿全集の贈呈式に加藤准教授、出席
5/12 今年度の定年退職教員事業の案内を、メールで各部局に対し送信。(回答締切日：6月13日)	7/27	史料館部会
5/18 史料館緊急連絡網の改訂版を作成し、24日にスタッフに送信した。	7/28	東北大学文学部開講科目「人文社会序論」学生一行茂木先生他20名
5/20、24、27 書庫A等に保管していた法人文書等を支援棟21新書庫への移送する作業を、片平環境美化チーム「ぶる～みんな」の協力で行なった。	8/1	定年退職教員事業肖像写真の撮影作業開始。
	8/3	ぶる～みんなによる清掃。支援棟 (8/3、9/8)
	8/8～8/16	本部事務機構および史料館の夏季休業に合わせて、階段教室の公開休止
	8/24	漕艇部学生一行24名

- 9/1 文学部考古学研究室・埋蔵文化財調査室所蔵考古資料コレクション展示を開催（～12/23）
- 9/6 西澤記念資料室（川内キャンパス）への移送作業
- 9/7 旧制二高卒業生故水越弘仲氏ご遺族松崎紀子氏より、水越氏旧蔵資料が寄贈された。
- 9/12 旧制二高卒業生故橋本忠夫氏のご遺族橋本和孝氏より、橋本氏の資料が寄贈された。
- 9/13 ぶる～みんによる清掃（支援棟21書庫）
- 9/14 ぶる～みんによる階段教室の清掃。
- 9/15 ぶる～みんによる史料館2階展示室清掃。
- 9/15 東北大学元総長佐武安太郎氏の遺品が、遺族佐武明氏より寄贈された。
- 9/15 階段教室展示ルーム内の展示ケースにヒラタキクイムシの食害が見つかり、業者による駆除作業を行なったため、展示ルームの公開を中止し、階段教室のみ公開した。
- 9/15 階段教室内天井裏にハクビシンの糞が見つかった。
- 9/22 午後に階段教室内のハクビシンの糞撤去作業のため、公開を休止した。
- 9/26 「藤野賞」授賞式と、翌日展示ルーム通路室のガラス交換作業のため、階段教室の公開を休止した。
- 9/26～30 史料館にて、博物館実習が行なわれた。
- 9/30 東北帝国大学卒業生岩崎重雄氏より、講義ノートなどの資料寄贈。
- 9/30 阿部次郎記念館新規収蔵資料および法文学部開設関係資料公開展示開催（～12/2）
- 10/1 東北大学創立115周年、総合大学100周年記念事業式典開催（加藤准教授式典行事を担当）。
- 10/2 片平キャンパスツアー
- 10/5 『史料館だより』第37号を東北大学機関リポジトリTOURへの登録を完了した。
- 10/6 午後に階段教室内ドローン撮影（東日本放送）のため、午後の公開を休止した。
- 10/11 元学務担当副総長の三谷英夫名誉教授より、資料寄贈
- 10/12 宮城県警と階段教室等の査察と警備等に関する打合せを行なった。
- 10/13 トヨタ小林耕二執行役員一行 見学
- 10/15 阿部次郎記念館新規資料公開記念シンポジウム、東北大学文学部創立百周年記念式典・記念講演会を文学研究科と共に開催した。
- 10/20 午後に階段教室展示ルームのクイムシの定期点検を行なった。
- 10/26～ 全史料協全国大会のサテライト会場として閲覧室を使用。
- 10/27 国際文化研究科勝山稔教授と学生一行13名が見学に来た。
- 10/31 写真業者から肖像写真の撮影が終了したと連絡があった。
- 11/1 各部局事務部宛てに、「本学の歴史に関する資料の収集協力について」を送信した。
- 11/10 奈良女子大学から1922年アインシュタイン日本来訪アプリ製作担当チームが視察。
- 11/1 AAとして、馬場崎岳採用。
- 11/21 「業績リストを提供する」回答の教員宛に「業績リストの作成およびご提出について」を送信した。
- 11/25 高度教養教育・学生支援機構中川学准教授と留学生一行が、見学に来た。
- 11/30 肖像写真（40名分）が納品された。
- 12/3 東北大学史料館60周年記念認証アー

	キビスト・シンポジウムを開催した。	1/25	SMMA主催の「文化財の梱包」研修会に参加（岡安、高橋）。
12/4	秋季企画展の休日開館が終了した。		
12/4	階段教室脇に設置していた罨でハクビシンを捕獲。	1/27	ぶる～みんにより、支援棟21書庫を清掃。
12/7	大橋広好名誉教授より、資料寄贈	2/6	文学研究科川合安教授より、岡崎文夫博士旧蔵資料が寄贈された。
12/6	史料館2F展示室内の展示ケース2台にヒラタキクイムシの食害が見つかる。	2/6	旧制二高卒業生黒田純生氏より、「二高昭和19年入学文科の会寄贈資料」が寄贈された。
12/8	業者（エス・ケイ消毒）に展示室内のキクイムシの被害状況を見てもらい、対応を相談した。	2/7	東北大学祭実行委員会船越孔氏より、『東北学生新聞』マイクロリールほか資料が寄贈された。
12/14	豊田直樹名誉教授とNHK文化センター「せんだい歴史まちあるき」第3回「東北大学発祥の地」見学17名	2/16	理学部卒業生長山隆男氏より、明善寮旧寮の建材1点が寄贈された。
12/15、16	肖像写真の贈呈・送付。	2/15～16	「星寮のおひな様」展のひな壇組立およびひな人形の飾り付けをおこなった。
12/19	ユネスコLibing Wang先生および教育学研究科劉准教授他学生一行10名	2/17	「星寮のおひな様」展開始
12/20	東北福祉大学富樫進准教授と学生一行12名、仙台市縄文の森広場ボランティア会一行12名が見学に来た。	2/2	東北大学文学部開講授業「人文社会序論」受講生一行見学
12/22、1/19	階段教室展示ルームのキクイムシ定期点検を行なった。	2/2、10	ぶる～みんによる清掃（2F展示室）
12/23	秋季企画展示終了。	2/22	階段教室脇に仕掛けた罨にハクビシンが捕獲された。
12/27	企画展の撤収作業を行なった。	2/22	階段教室展示ルームおよび展示室のキクイムシ定期点検を行なった。
12/28～1/3	年末年始休業	3/1	医学系研究科と文学研究科から人事給与課提供名簿未記載者2名の退職予定者情報が寄せられた。そのうち、医学系研究科1名は今年度分として対応し、文学研究科1名は来年度分として対応する事にした。
1/10	展示室内に大型プロジェクターを設置した。	3/1	AAとして、3月城所喬男さんを採用。
1/10	2F貴重品室入口カギのシリンダー交換を行なった。	3/6	階段教室脇に仕掛けた罨にハクビシンが捕獲された。
1/12～2/14	展示室内に「江澤民追悼展」を設置し、公開した。	3/6	医学系研究科辻一郎教授より、東日本大震災への対応に関する記録一式が寄贈された。
1/19	2F展示室内展示ケース3台のヒラタキクイムシの食害に、業者による防虫駆除作業をおこなった。	3/6	旧制二高卒業生福原嘉一郎氏ご遺族
1/23	植田理事ほか日本鉱業4名視察対応。		
1/24	牛尾理事と他機関からの出向教員等の見学対応。		
1/24	館内エレベーターの法定点検等実施。		

- 浜本三晴氏より、二高関係資料が寄贈された。
- 3/9 史料館だより第38号が納品された。
- 3/10 午後から、ネットワークの不具合が発生した。
- 3/10 パンフレットが納品された。
- 3/14 午後防犯ボランティアの学生団体設立イベントを階段教室で開催のため、公開を休止した。
- 3/15 理学研究科齋藤理一郎教授より、写真やビデオおよび受賞関係資料が寄贈された。
- 3/15 「星寮のおひな様」展終了
- 3/16 ひな人形の撤収作業
- 3/18 附属図書館にて新入生歓迎展示（～5/17）の設営
- 3/20 附属図書館医学分館より、教授退官記念業績集および卒業生名簿等が寄贈された。
- 3/22 研究報告第18号が納品された。
- 3/24 工学研究科石田壽一教授より、同教授最終講義関係資料他が寄贈された。
- 3/24 「総長・理事・副学長事績アーカイブ事業」として、佐々木啓一理事・副学長事績ヒアリングを実施。
- 3/24 木島明博名誉教授より、1974年七大学応援団東京パレードのビデオテープが寄贈された。
- 3/31 AAの伊藤遼、尾前千玲、馬場崎岳、石井慶太、萬年佳奈子、城所喬男が任期満了（史料館教員外部資金雇用スタッフ含）。

## 東北大学史料館職員 (2024年3月現在)

※は史料館公文書室の専任職員

館長 (文学研究科教授)	有光 秀行	(2022年4月1日～)
専任教員		
准教授	加藤 諭	(2017年4月1日～)
特任講師	片倉 峻平	(2023年12月1日～)
助教	曾根原 理	(2006年4月1日～)
助教	大原 理恵	(2006年4月1日～)
学術研究員	岡安 儀之	(2022年11月1日～) ※
事務職員 (4名)		
事務職員(再雇用職員)	高橋 早苗	
事務補佐員	津上麻衣子	(2019年4月1日～)
	田中 詩穂	(2019年11月1日～) ※
	荻島 啓子	(2023年11月1日～) 本部総務企画部総務課付
学生スタッフ (3名、史料館公文書室経費雇用分)		
アドミニストレイティブ	池田 凧沙	文学研究科博士後期課程学生 (2023年10月4日～)
アシスタント	遠藤 真央	文学研究科博士後期課程学生 (2023年5月9日～)
	谷川 朋史	文学研究科博士後期課程学生 (2023年5月8日～)
兼務教員 (4名)	安達 宏昭	文学研究科教授
	中川 学	高度教養教育・学生支援機構准教授
	串本 剛	高度教養教育・学生支援機構准教授
	高橋 禎雄	高度教養教育・学生支援機構助教
協力研究員 (11名)	吉葉 恭行	岡山大学教授
	浦山 きか	東北大学高度教養教育・学生支援機構非常勤講師
	清水 修	一般社団法人アカデミックグルーヴ 代表理事
	白川 栄美	元東京大学文書館学術支援職員
	小嶋 翔	吉野作造記念館主任研究員
	伊藤 大介	東北学院大学助教
	新井菜穂子	江西理工大学外国專家
	鳥居 建己	名取市教育委員会市史編さん室専門員
	岡安 儀之	東北大学史料館公文書室学術研究員
	伴野 文亮	鹿児島大学法文学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センター特任准教授
	青木 睦	学習院大学非常勤講師

## 学術資源研究公開センター運営専門委員会史料館部会委員 (2023年度)

委員 (13名)	有光 秀行	史料館長・文学研究科教授・附属図書館副館長 (委員長)
	片岡 龍	文学研究科教授
	堀 裕	文学研究科教授
	坂本 忠久	法学研究科教授
	五十嵐太郎	工学研究科教授
	経塚 淳子	生命科学研究科教授
	石井山竜平	教育学研究科准教授
	佐藤 大介	災害科学国際研究所准教授
	中川 学	高度教養教育・学生支援機構准教授
	小貫 勅子	キャンパスデザイン室特任講師
	加藤 諭	学術資源研究公開センター (史料館) 准教授
	曾根原 理	学術資源研究公開センター (史料館) 助教
	大原 理恵	学術資源研究公開センター (史料館) 助教